



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『名誉』

人には誰でも名前がある
生まれた時に名前が付く
好きとか嫌いとは関係なく
自分で決める事はできない

一生その名前と共に歩み続けなければならない
名前はこの世に人として生まれてきた証でもある
産んでくれた親に感謝をし
人に生まれた事を誇りに思う

付けてくれた名前を汚してはいけない
人の目や評価だけを気にするのではなく
まずは自分の心の中で
自分の名前に誇りを持ち
胸を張って生きていけばいい



社会に出ると色々な肩書きが付く
班長、主任、学級委員
肩書きにより仕事の役目がわかる
課長、部長、社長

肩書きにより仕事の立ち位置がわかる
誰でも肩書きは気になる
誰でも肩書きは欲しくなる

しかし肩書きに憧れるだけではいけない
高い位置に立って喜ぶだけではいけない
それぞれの肩書きには責任がある

責任を果たせなければ恥になる
肩書きは重くて大切なものだ
肩書きを汚してはいけない
肩書きを恥にしてはいけない
肩書きを名誉にしなければならぬのだ

名誉とは何だろう？
名誉とは肩書きであり、名前である

希哉